



英語教師の能力・資質

英語科教育法 I-1

2014年度第3回

投野由紀夫



本日のテーマ

- 英語「教師」に必要な基礎スキルを考える
- その訓練方法を実際に試してみることを通して、自分のスキル・レベルや適性などを考える
- 実習までに「達成すべきスキル目標」を具体的にイメージする



英語教師の能力・資質

- 「教師」に関すること

- 「英語」に関すること



「教師」全般に共通する能力



資質その1: 声の出し方

- 疲れない発声
- 腹式呼吸の基礎トレーニング
- のど声はすぐに嘎れる
- 大きいだけでなく、小さくても響く声



トレーニング1

- 腹式呼吸のイメージをつかむ
 - 発声法
 - 腹式呼吸の基礎トレーニング



トレーニング2

- 教室の前で声を出す練習(10名):
「はい、授業を始めます。
全員席について。
Good morning, everyone!
How are you today? Good!
It's a beautiful day, isn't it?
Let's enjoy today's lesson. 」



資質その2:アイコンタクト

- コミュニケーションの基本
- 日本人はちょっと苦手
- 苦手な人は普段から訓練を
→鏡を見ながらしゃべる



トレーニング3

- 二人一組になる
- 相手の目を見ながら1分しゃべる
 - 「昨日1日の過ごし方」
- 前に出て生徒に向かってしゃべるようなつもりで、15秒トーク
 - 「皆さん、朝はちゃんとあいさつしましょう。」というようなことをいう



資質その3: 顔の表情

- 教室では常に気持ちを明るく前向きに、積極的な態度で
→ 笑顔がこぼれるようなのがいい
- 緊張しているときこそ笑ってみる



トレーニング4

- 顔の筋肉をほぐす
- HRで簡単な自己紹介
 - 全体を見ながら笑顔で挨拶する（10名）

「はじめまして。～といたします。皆さんと1ヶ月一緒に勉強するのを楽しみにしています。趣味は...です。がんばりましょう！どうぞよろしく！」



資質その4: 声の表情

- 大声だけではだめ → 強弱を使い分ける
- 相手に聞いてほしいと思ったら小さな声にすることも必要
- 教師は自分のパフォーマンスを楽しむことも大事
- 声の表情が豊かな先生ほど、コミュニケーション能力は高い



トレーニング5: 絵本を読む

- The Lion and the Mouse
- まずは自分で読む練習
- 次にペアで相手に読んであげる
→相手はテキストを見ずに状況がわかるだろうか？
- 全員の前で音読する(やりたい人)



資質その5: 体で表現する

- 中学の英語導入初期は英語表現が非常に限られる
→ 英語だけの授業だったら、どうするか？
- 絵や実物を使うだけでなく、自分の体で表現する能力を持っているとよい



トレーニング6: パントマイム

- パントマイムのゲームをやってみよう
- Charades:
 - 10人1チーム
 - 一人じゃんけんで選ぶ
 - リーダーにキーワードをわたす
 - 1個ずつ見せてジェスチャーで表現
 - 当たったら次の人に交代



トレーニング効果

- 「全然ダメ」と思った人
 - 性格はあまり変わらないけれども、「話し方」や「度胸」は鍛えられる
 - トレーニングと「人まね」が効果的
 - 努力して自分を変える
- 「愛する生徒のため」学校にいる時間は「積極的で明るい自分」を見せること
 - 自分の気分で生徒を悲しませてはいけない。



「英語」に関する能力



英語教師の英語力

- 英語力は英語教師の武器
- スキル系の科目では「先生が出来て、お手本が示せる」ことは重要
(例)生活科, 体育, 音楽
- 「英語教員の英語力」(文科省)
→ 英検準1級レベル
- 上を見ればキリがない
- では中高の英語教員としての「下限」は??



英語教師の持つべき最低限の英語力

- 「中学3年」レベルの英語が自由自在になる

- 金谷憲「英語教師の能力資質」

- (伊藤健三・金谷憲(著)『英語科教育法』

- 明治図書)

- 低いように見えるが案外このレベルをちゃんとできる教員が少ない

- 「中学3年レベルの英語」の正体を知る

- 「自由自在」とは？



中学3年レベルの英語

- 英語の教科書3年分まるまる1冊
 - 語彙数 約1,200語程度
 - 会話コーパス:
 - トップ100語 → 67%
 - トップ200語 → 74%
 - トップ500語 → 82%
 - トップ1000語 → 87%
 - トップ2000語 → 92%
- 中学3年間の英語を自由自在に使いこなせれば、一般的なコミュニケーションは不自由しない。



自由自在(1):リーディング

- リーディング能力: 辞書を使わずに中学の教科書を自然なスピードで読める
 - 自然なスピード: 毎分250語で読めれば、どの平均的中学生より速いと言える
- 自分でやってみる:
 - 3年分の教科書を最初から黙読する。
 - 3年分の教科書: 本文1万語~1万5000語くらい
 - 1分間250語で読めれば、60分で読み終える
 - この際にわからない単語、意味が取れない箇所がないことが条件



トレーニング(1): 速読力

- プリントを配る
- 1分間でどのくらい速く読めるかチェック
- ただし, 無理をしない
- 内容がすっと頭に入るスピードで
- カウントをするので何秒かかったか記入して
wpm を算出



自由自在(2):リスニング

- リスニング能力: 同様に中学校英語教科書付属CDでテキスト本文を聞いて1度で内容を聞き取れる
- やってみよう:
 - 教科書CDを借りてきて, iPod などに入れる
 - 通して聞いてわからないところがないかチェックしてみよう
 - English Journal なども練習には効果的
 - CNN, BBCなどのニュースをAV室でいつも観る



トレーニング(2)

- これから読まれる英文を聞いて、英語の質問に答える。(中学3年の聞き取り問題)
- ストレスなく聞けるか？
- 質問に楽に答えられるか？



自由自在(3):スピーキング

- 教科書のどこからトピックを与えられても、ぱっと考えてその場で1分間英語で話せる。
- 生の英語を話す情報源として
英語教師はお手本を
示せないといけない。
- やってみよう:
 - 帰り道独りで歩きながら英語で喋ろう
 - 思いついたテーマで3分話す練習



トレーニング (3)

1. I like soccer.
 2. TV and music
 3. Ms. Jone's family
 4. Hi, Mike
 5. A friend from Kenya
 6. Australia on the Internet
 7. Gestures
 8. Mike calls America.
 9. Aya volunteers
 10. New Year's Food
 11. A letter from N.Y.
- ☆ ペアになって相手が選んだお題で喋る



自由自在(4): ライティング

- まったく同じ内容に関して, ストレスなく英語で書ける



トレーニング (4)

1. I like soccer.
2. TV and music
3. Ms. Jone's family
4. Hi, Mike
5. A friend from Kenya
6. Australia on the Internet
7. Gestures
8. Mike calls America.
9. Aya volunteers
10. New Year's Food
11. A letter from N.Y.



自由自在(5):文法力

- 中学3年間の英語教科書の新出文法事項の目標文(ターゲットセンテンス)を見ないで、日本語から英語にできる
- 基本的な表現からより複雑な表現へのグラデーションが自分の頭の中にある



トレーニング (5)

- 英語にしてみよう:
 1. この地下鉄は日比谷に行きますか？
--- はい、行きます。
 2. ロンドンに行ったことがありますか？
--- ええ、何度もあります。(visit を使って)
 3. タロウはどうしてにっこり笑っていたんですか？
--- その知らせを聞いて嬉しかったからです。



トレーニング (5)

1. Does this subway go to Hibiya?
--- Yes, it does. (中1)
2. Have you ever visited London?
--- Yes, I've been there many times.
(中2)
3. Why was Taro smiling?
--- Because he was glad to hear the
news. (中3)



自由自在(6): 語彙力

- 中学の1000語がわかる → 当たり前
- 高校で普通はプラス2000語～大学受験レベルは4000語は習っている
- やってみよう:
 - 英和辞典をどこでもいいから開く
 - そのページで知っている単語をカウントする
 - 全体のページ数とその辞書の見出し語数を確認して、だいたいの語彙量の割合を出す
 - 知っている単語が2000語以下の人は危険信号



トレーニング(6)

- これから英単語を見せますので、意味を書きなさい。
- 先ほどの速読用のプリントの裏を使ってください。
- 全部で8問あります。
- わからなかったら「？」としてください。
- 後で答えあわせをします。



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

issue



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

deny



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

bay



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

specimen



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

salvation



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

versatile



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

reiterate



トレーニング(6)

- 日本語の意味を書きなさい:

immaculate



トレーニング(6)

大学英語教育学会基本語8000のスケール:

1000語	issue	問題
2000語	deny	否定する
3000語	bay	湾
4000語	specimen	標本, 見本
5000語	salvation	救済, 魂の救い
6000語	versatile	万能な, 多才な
7000語	reiterate	繰り返して述べる
8000語	immaculate	汚れのない, 完璧な



外語大生だからって安心しない

- 英語力は使わないとかならず落ちる
 - 力が落ちる現象: attrition; language loss
- 他の大学では英語プログラムを改革し、大学になってから力をつけている
- 外語に入っても4年経てば追い越されるかも...
- 英語技能試験を受検して自分を知る:
 - TOEIC 900, TOEFL-CBT 250 を目標にする
- 4年卒業まで英語の筋肉を落とさないこと
- 短期留学などモチベーションを高めること



英語教師として...

- 英語のできる先生は自分に自信がある
- 英語のできる先生は生徒から尊敬される
- 英語のできる先生は同僚からも信頼される
- 英語のできる先生は教え方の幅が広い
- 英語のできる先生は柔軟性が高い

- 英語のできる先生になろう！